

# ICT 通信 9 月号



今回は周手術期における喫煙の影響についてお話しします

担当 手術室

## 煙草の煙には有害物質が含まれています!!!!

タール・・・発がん物質や発がん促進物質、毒性物質が含まれています  
一酸化炭素・・・動脈硬化を促進させる作用があります  
ニコチン・・・心拍・末梢血管抵抗を上昇させ末梢循環を障害します

### 喫煙が手術患者に与える影響

喫煙が生体に与える影響はたばこの煙に含まれる一酸化炭素、一酸化窒素、ニコチンやタールなどの成分によります。

血液中の酸素含有量が低下したり、組織での酸素を旨く使えなかったり、血管を拡張してしまったりします。

ニコチンは交感神経興奮状態にさせ、気道の分泌物を増加させ、気管支を収縮させる影響があります。

喫煙をしていると、手術中・手術後に喀痰量が多くなり、呼吸器系や、循環器系、手術創、感染などの合併症が多くなることも言われています。

### 禁煙が手術患者に与える影響

#### 術前禁煙の効果

喫煙は周手術期の危険因子です。術前に禁煙をすることにより上記の様々な合併症の発生頻度が減少することが分かっています。術前 4~8 週間の禁煙により術後呼吸器合併症や循環器合併症の発生率が減少し、術前禁煙による様々な効果があります。その中でも創治癒の改善効果に影響を与えます。手術を受ける患者さんは術前禁煙を実施するようお願いいたします。

手術を受ける患者さんは術前 1 か月前からの禁煙をして手術に臨みましょう！！

